

令和2年5月1日

関係者各位

特定非営利活動法人 中原たすけあいの会
理事長 平野征幸

活動休止の予告

拝啓 皆様には、日ごろから当会の活動について、ご指導、ご支援、ご利用いただき感謝申し上げます。

今は、地域社会が新型コロナウイルスの蔓延で混乱しております。当会の活動も感染予防に努めて、日常生活にどうしても必要な外出に限りサービス活動を継続しております。

さて、当会は平成9年に活動を開始して、これまで24年を経過いたします。これまで、外出支援活動を始め、介護保険事業も含め、地域で生活するために必要なサービスで、私たちにできることを積極的にとり扱ってまいりました。

振り返ると24年という時間を、その時その時、会員一同必死に過ごしてまいりました。

しかし、現在は下記のような解決できない課題が重くのしかかり、これからのサービス活動を提供することが困難になりました。

関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、令和2年度末（令和3年3月31日）をもって活動を止めることにいたします。

特に、利用会員の皆様には、ご迷惑とご心配をおかけすることとなりますが、現状をご理解いただきますよう重ねてお願い申し上げます。 敬具

記

1 運転ボランティアスタッフの不足と高齢化の問題

これまで多いときは十数名体制で活動をしてまいりましたが、現在3名となっております。さらに最近の6年間は人材の新陳代謝が進まず、その結果高齢化が進み、現在の平均年齢は78歳となっております。このような状態となっており、このまま活動を継続することは、安全・安心なサービスの提供が危惧されます。

1 財政運営上の問題

私たちの活動、特に有償の外出支援活動は、現行法制度上残念ながら採算が見合う制度とはなっておりません。更に、当会では無償の外出支援活動（もやい号の運行）を行っており、最近では毎年4百万円前後の赤字経営となっており、事業継続が財政的に困難となっております。